

科目番号	1 6 0 2	領域区分	助産学領域	
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
1・2	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	臨床助産学演習 (Advanced Plactice in Clinical Midwifery)			
担当教員名	米山 万里枝			
授業の概要及び到達目標				
生涯を通じた女性および妊娠・分娩期の妊産婦の健康水準を診断し、妊娠・分娩が自然で安全に経過できるような助産技術の基礎を再確認し、展開する。具体的には、フィジカルイグザミネーション、超音波画像診断、胎児心拍・陣痛診断、ヘルスプロモーション・健康教育等により、助産診断の実践力を探求する。女性の健康の基礎、安全で快適なケアを考え、周産期の健康診査と保健指導技術、異常時の対応やケア、分娩各期のケア・分娩介助の方法について探求する。 更に周産期医療における助産師として診断し、対応できる実践力を探求する。救急処置、乳幼児健診や地域支援・連携等の演習（シミュレーショントレーニング：新生児呼吸蘇生等）を通して実践能力を探求する。また、母子保健医療と助産の動向、助産業務関連法規、助産師業務と社会的責務、病院や助産所などの特性を踏まえた助産業務管理・運営、医療事故や災害に対するリスクマネジメント、ケアの質保証、院内助産等を含む、助産管理の在り方を探求する。				
準備学習等				
【授業：講義・演習・プレゼンテーションの準備学習】 以下の課題を予習し、自らの目的・目標に基づいてフィールドを開拓し、女性のライフステージや健康状態に応じたヘルスアセスメントと援助を展開する。演習を前提に進めるので、提示された事前学習に取り組み、討論の準備をして参加すること。 演習終了後は、自己の演習を振り返り、探究した内容をレポートすること。 概要・授業内容項目をみて、各自で学習プログラムとフィールドを設定する。 1～2 回 妊婦健診の実際：問診、妊婦健診 アクティブバースとフリースタイル出産の介助 3～4 回 胎児モニタリングの実際（CTG 研修会に参加を含む） 胎児機能不全の診断、分娩監視装置による診断の実際、子宮収縮剤の管理 5～6 回 新生児蘇生（NCPR）（学会認定講習の開催） 7～9 回 離島の診療所における医療および助産・看護の役割と活動の実際を理解する。 （演習：沖縄県北部病院 伊平屋島診療所） 1) 離島の助産サービス管理の実際を知ることができる。 2) 離島の環境の特徴について知ることができる。（妊娠期～育児期、学童期他） 3) 沖縄における助産に関する変遷を知ることができる。 健康に関する予防医学を学ぶ。 ※島民のインフルエンザ予防接種に参画 10 回 産褥期のフィジカルイグザミネーション（乳房の観察）と保健指導 11～12 回 医療事故や災害に対するリスクマネジメント、助産管理（工場見学の実施） 13～14 回 生命倫理				

15 回 まとめ プレゼンテーションと全体討議 講義・プレゼンテーション後にはテキストや講義資料等の復習をし、提示されたレポート等に取り組むこと。 【演習の準備学習】 事前に提示される演習自己課題に取り組み、自らの目的・目標に基づいてフィールドを開拓し女性のライフステージや健康状態に応じたヘルスアセスメントと援助を展開する。演習を前提に進めるので事前学習をしておくこと。	
成績評価の方法	演習参加度評価、演習参加態度、プレゼンテーション内容等（50%）、グループワークの発表内容（10%）、演習の記録、課題レポート（40%）にて総合的に評価する。
テキスト	特に指定しない。適宜、提示する。
参考図書	1. 我部山キヨ子他：助産師のためのフィジカルイグザミネーション、医学書院 2. 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会：産婦人科診療ガイドライン産科編 2017 3. 馬場一憲：基礎から学ぶ産婦人科超音波診断、東京医学社
備 考	
授 業 計 画	
【到達目標】 臨床助産学特論で学んだ知識に基づき、教育・研究力、臨床実践力強化・発展させるために、自らの目的・目標に基づいてフィールドを開拓し、女性のライフステージや健康状態に応じたヘルスアセスメントと援助を展開する。この演習を通して、専門職として女性各期の健康問題への支援、業務管理、他職種や組織との連携、リーダー的役割や援助能力等を追究する。また、自己の研究疑問から研究課題を明確化し、以下の実践を通して助産学の発展に寄与する研究的取り組みを行う。 【授業方法】 概要・授業内容項目をみて、各自で学習プログラムとフィールドを設定する。 1～2 回 妊婦健診の実際：問診、妊婦健診（演習） アクティブバースとフリースタイル出産の介助 3～4 回 胎児モニタリングの実際（講義・演習後、討議） 胎児機能不全の診断 分娩監視装置による診断の実際 子宮収縮剤の管理新生児 5～6 回 蘇生（NCPR）（演習：学会認定講習 大学にて開催） 7～9 回 離島の診療所における医療および助産・看護の役割と活動の実際を理解する。 （演習：沖縄県北部病院 伊平屋島診療所） 1) 離島の助産サービス管理の実際を知ることができる。 2) 離島の環境の特徴について知ることができる。（妊娠期～育児期、学童期他） 3) 沖縄における助産に関する変遷を知ることができる。 10 回 産褥期のフィジカルイグザミネーション（乳房の観察）と保健指導（演習） 11～12 回 医療事故や災害に対するリスクマネジメント、助産管理（講義・演習） 13～14 回 生命倫理（講義後、討議） 15 回 まとめ プレゼンテーションと全体討議	